

令和 7 年度健康寿命延伸のための調査・分析事業に係る検討会委員

<検討会委員>※敬称略

所 属	役 職	氏 名
鳥取大学医学部環境予防医学分野	准教授	金城 文
全国健康保険協会鳥取支部	保健グループ長	大石 純子
鳥取県国民健康保険団体連合会保健介護課 保健・共同事業担当	主任主事	佐々木 宏太

<事務局>※令和 7 年度末時点

所 属	役 職	氏 名
福祉保健部健康医療局医療・保険課	課 長 課長補佐 主 事	小寺 康博 田中 康平 中尾 勇斗
西部総合事務所米子保健所医薬・感染症対策課 福祉保健部健康医療局健康政策課	課長補佐 課 長 参 事 課長補佐 保健師	吉田 慧 角田 智玲 大谷 眞二 北根 尚徳 田中 優風

令和7年度健康寿命延伸のための調査・分析事業に係る検討会概要

<第1回検討会>

【日時】 令和8年2月16日（月）午後1時30分から午後3時まで

【場所】 県庁議会棟3階第13会議室（Cisco Webex Meetings を使用したハイブリッド会議）

【議事】 （1）調査・分析事業の分析結果及び分析方針について
（2）今後の啓発や取組への展開に係る検討について
（3）その他

【概要】

- ・被扶養者や国保被保険者など職域で受診勧奨のない者の受診率は低い。
- ・協会けんぽの業種別分析では、運輸業、医療関係の健診受診率が低い傾向。
- ・データを結合したことで、保険者別の傾向と異なるものがあることが分かり、今後の健診受診勧奨等に参考になる。
- ・現時点では血圧リスクが目立ち腹囲リスクとの関連が強い印象。
- ・高血圧は継続した課題であることが分かり、血圧リスクと他の項目との相関の分析を進めていくのが良さそう。
- ・メタボや20歳代からの体重増加、女性の運動量が少ないことなどターゲットを絞ったアプローチにつながる分析である。
- ・R4、R5のNDB結果でも鳥取県は運動習慣のある人の割合が最下位だった。
- ・40～50歳代男性の喫煙率が高いが、R6の問診票からは喫煙に関する問診が改訂され、「やめた」が選択肢に追加され、より実情に応じた内容となった。
- ・健診受診者の状況であるものの、飲酒、喫煙、睡眠等のリスク因子を持っている。
- ・啓発の際に、メタボを強調することでやせが多い20～30歳代女性等に対するミスリードにつながらないよう注意が必要。
- ・HPでの啓発は、県民に分かりやすいものがよい。
- ・特定健診CM動画を作成し、R8には公開予定で今後検索BOXやリンクの設定など検討したい。
- ・県民のデータを広く分析する重要な分析であり継続されたい。

<第2回検討会>

【日時】 令和8年3月19日～3月27日

【方法】 書面開催による意見照会

【議事】 （1）県民への啓発媒体について
（2）今後の分析方針（令和5年度分）について
（3）次年度の分析方針について

【概要】

- ・啓発は血圧リスクとリスクとの関連項目を中心にするなど内容を絞った方がよい。
- ・飲酒量などは具体的なメッセージや目安を追記する方がよい。
- ・喫煙率が高く、事業所の業種別の各因子保有率がわかると、注力する業種（例えば、建設業や保安業など）がわかる。
- ・今回のデータからは、飲酒、喫煙、運動が危険因子として挙がっているので、全国値との比較などにより、これらに対する対策が重要。
- ・特定保健指導のデータも分析できるとよい。
- ・何人かに配布して感想を求めるなどでブラッシュアップしてみてもどうか。
- ・リスクの重複などを把握するためベン図で描いてみるとよい。